

むかわ町地域防災計画 (資料編)



令和 7 年 6 月

むかわ町防災会議

目 次

第 1 章	総則	
第 5 節	防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱関係	1
第 2 章	むかわ町の概況	
第 2 節	災害の概況関係（むかわ町・鶴川町・穂別町の災害の概況）	2
第 4 章	災害予防計画	
第 2 節	防災訓練計画関係	1 4
第 3 節	物資及び防災資機材等の整備・確保に関する計画関係	1 5
第 5 節	自主防災組織の育成等に関する計画関係	1 6
第 1 0 節	消防計画関係	1 7
第 1 1 節	水害予防計画関係	2 1
第 1 3 節	雪害予防計画関係	2 1
第 5 章	災害応急対策計画	
第 7 節	広域応援・受援計画関係	2 2
第 1 4 節	輸送計画関係	2 2
第 1 5 節	食糧供給計画関係	2 6
第 1 6 節	給水計画関係	2 7
第 1 7 節	衣料、生活必需物資供給計画関係	2 8
第 2 5 節	行方不明者の捜索及び遺体の収容処理埋葬計画関係	3 1
第 2 8 節	廃棄物等処理計画関係	3 1
第 3 0 節	労務供給計画関係	3 1
指定避難所・指定緊急避難場所		3 2
各種協定締結状況		
応急対応に関する協定		3 3
物資供給・輸送に関する協定		3 5
相互応援に関する協定		3 7
被災者支援に関する協定		3 9
その他防災に関する協定		4 1
津波避難地域		4 3

第1章 総則

第5節 防災関係機関等の処理すべき事務又は業務の大綱関係

むかわ町防災会議委員構成

No.	区分	所属	役職等
1	指定地方行政機関の職員	室蘭開発建設部鵲川沙流川河川事務所	所長
2		室蘭開発建設部苫小牧道路事務所	所長
3		室蘭開発建設部日高道路事務所	所長
4		苫小牧海上保安署	署長
5		室蘭地方气象台	次長
6		胆振東部森林管理署	署長
7	陸上自衛隊北部方面隊の自衛官	陸上自衛隊第7師団（東千歳）第7特科連隊	連隊長
8	北海道の知事の部内の職員	胆振総合振興局地域創生部地域政策課	主幹
9		胆振総合振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所	所長
10	北海道警察の警察官	苫小牧警察署	署長
11	町長部内の職員	むかわ町	副町長
12		むかわ町	穂別総合支所長
13	教育長	むかわ町教育委員会	教育長
14	胆振東部消防組合の職員及び消防団の団員	胆振東部消防組合消防署鵲川支署	支署長
15		胆振東部消防組合消防署穂別支署	支署長
16		胆振東部消防組合鵲川消防団	団長
17		胆振東部消防組合穂別消防団	団長
18	指定公共機関又は指定地方公共機関	東日本電信電話(株)北海道事業部北海道南支店苫小牧営業支店	営業支店長
19		北海道旅客鉄道(株)苫小牧地区駅	地区駅長
20		北海道電力ネットワーク(株)富川ネットワークセンター	所長
21		道南バス(株)平取営業所	所長
22		一般社団法人苫小牧市医師会	会長
23		鵲川郵便局	局長
24		穂別郵便局	局長
25		鵲川土地改良区	理事長
26		鵲川農業協同組合	代表理事組合長
27		とまこまい広域農業協同組合穂別支所	支所長
28		鵲川漁業協同組合	代表理事組合長
29	自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者	むかわ町自治会・町内会連合会	会長
30		富内連合自治会自主防災会議	代表
31		社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会	会長

第2章 むかわ町の概況

第2節 災害の概況関係（むかわ町・鵠川町・穂別町の災害の概況）

1 むかわ町（※平成18年3月27日合併以降）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要														
平成18年8月18日	集中豪雨	8月18日未明から19日午前2時頃までの停滞前線による北海道中部を中心とした大雨により、胆振東部、日高西部に記録的豪雨をもたらした。鵠川地区の連続降雨量は310mm、穂別地区では279mmで、18日午前4時30分に鵠川地区で時間最大降雨量は57mm、穂別地区では午後9時に34mmを記録、短時間に非常に強い豪雨であった。 このため、小河川や一級河川が一気に増水し、沿川各所は多くの被害を受けた。一時期は、鵠川の水位が計画高水位に接近し、はん濫の恐れがあったほどである。人的被害はなかったが、床上・床下浸水、町道、農業用排水路決壊・破損、橋梁流失、田畑埋設・冠水被害など被害総額は18億円に達する大被害であった。 また、水源地の土砂埋塞と浄水場付近における導水管の切断により断水状態となった。 <table><tr><td>住家・非住家被害</td><td>1, 7 4 0 千円</td></tr><tr><td>農業被害</td><td>7 7 4, 1 0 5 千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>7 4 1, 4 0 0 千円</td></tr><tr><td>水産被害</td><td>1, 5 5 0 千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>2 6 0, 2 0 0 千円</td></tr><tr><td>その他被害</td><td>5 8, 1 9 9 千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>1, 8 3 7, 1 9 4 千円</td></tr></table>	住家・非住家被害	1, 7 4 0 千円	農業被害	7 7 4, 1 0 5 千円	土木被害	7 4 1, 4 0 0 千円	水産被害	1, 5 5 0 千円	林業被害	2 6 0, 2 0 0 千円	その他被害	5 8, 1 9 9 千円	被害総額	1, 8 3 7, 1 9 4 千円
住家・非住家被害	1, 7 4 0 千円															
農業被害	7 7 4, 1 0 5 千円															
土木被害	7 4 1, 4 0 0 千円															
水産被害	1, 5 5 0 千円															
林業被害	2 6 0, 2 0 0 千円															
その他被害	5 8, 1 9 9 千円															
被害総額	1, 8 3 7, 1 9 4 千円															
平成20年7月23日	大 雨	7月23日未明からの大雨により、鵠川地区の連続降雨量は88mmで、午前6時に時間最大雨量は31mmを記録、短時間に強い大雨であった。 このため、冠水等により町道2路線を通行止めとした。住民・住家には被害はなかったが、町道、河川、田畑流出・埋没等被害など、被害総額1 5, 6 6 0 千円の被害があった。 <table><tr><td>農業被害</td><td>5, 4 6 0 千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>1 0, 2 0 0 千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>1 5, 6 6 0 千円</td></tr></table>	農業被害	5, 4 6 0 千円	土木被害	1 0, 2 0 0 千円	被害総額	1 5, 6 6 0 千円								
農業被害	5, 4 6 0 千円															
土木被害	1 0, 2 0 0 千円															
被害総額	1 5, 6 6 0 千円															
平成21年7月8日	大 雨	7月8日早朝からの低気圧通過に伴う大雨により、鵠川地区の総雨量は65mm、穂別地区仁和の総雨量は65mmで、穂別地区で午前0時に時間最大雨量は35.5mmを記録、強い大雨であった。 このため、人家には被害はなかったが、町道、普通河川、林道被害など、被害総額1 7, 7 0 0 千円の被害があった。 <table><tr><td>土木被害</td><td>1 6, 4 0 0 千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>1, 3 0 0 千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>1 7, 7 0 0 千円</td></tr></table>	土木被害	1 6, 4 0 0 千円	林業被害	1, 3 0 0 千円	被害総額	1 7, 7 0 0 千円								
土木被害	1 6, 4 0 0 千円															
林業被害	1, 3 0 0 千円															
被害総額	1 7, 7 0 0 千円															
平成21年7月18日 ～19日	大 雨	7月18日・19日の大雨により、穂別地区の総雨量は88mmの大雨であった。人家には被害はないが、町道、普通河川、林道に、被害総額2 6, 3 0 0 千円の被害があった。 <table><tr><td>土木被害</td><td>2 4, 2 0 0 千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>2, 1 0 0 千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>2 6, 3 0 0 千円</td></tr></table>	土木被害	2 4, 2 0 0 千円	林業被害	2, 1 0 0 千円	被害総額	2 6, 3 0 0 千円								
土木被害	2 4, 2 0 0 千円															
林業被害	2, 1 0 0 千円															
被害総額	2 6, 3 0 0 千円															

平成21年9月7日 ～8日	豪 雨	9月7日・8日の豪雨により、穂別地区の総雨量は83mmの大雨で、8日午前1時に時間最大雨量25.5mmを記録、町道で土砂崩れが発生する大雨であった。 このため、町道、普通河川、林道、農地流出・冠水など、被害総額45,735千円の被害があった。 <table><tr><td>農業被害</td><td>435千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>43,800千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>1,600千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>45,735千円</td></tr></table>	農業被害	435千円	土木被害	43,800千円	林業被害	1,600千円	被害総額	45,735千円				
農業被害	435千円													
土木被害	43,800千円													
林業被害	1,600千円													
被害総額	45,735千円													
平成22年8月11日 ～12日	大 雨	8月11日・12日の大雨により、鵠川地区の総雨量は198mm、穂別地区の総雨量は153.5mmで、11日午後11時に鵠川地区の時間最大雨量は48.5mm、穂別地区では午前11時に22.5mmを記録、非常に強い大雨であった。 このため、人的被害はないが、床下浸水が7戸、町道、普通河川、林道、農作物冠水など被害総額は196,438千円の被害があった。 <table><tr><td>住家被害</td><td>(7戸)</td></tr><tr><td>農業被害</td><td>148,331千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>43,800千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>3,900千円</td></tr><tr><td>その他被害</td><td>407千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>196,438千円</td></tr></table>	住家被害	(7戸)	農業被害	148,331千円	土木被害	43,800千円	林業被害	3,900千円	その他被害	407千円	被害総額	196,438千円
住家被害	(7戸)													
農業被害	148,331千円													
土木被害	43,800千円													
林業被害	3,900千円													
その他被害	407千円													
被害総額	196,438千円													
平成23年3月11日	津 波	3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、東北地方及び太平洋沿岸に大津波による被害があった。 このため、午後3時5分津波警報発表により、午後3時20分に沿岸地区に避難勧告を発令、午後3時31分大津波警報発表により、午後3時50分に避難指示を発表、避難者は79世帯211人が避難した。人的被害はなかったが、漁港施設及び鵠川漁協施設など被害総額は79,994千円と大きな被害を受けた。 <table><tr><td>土木被害</td><td>35,000千円</td></tr><tr><td>水産被害</td><td>44,994千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>79,994千円</td></tr></table>	土木被害	35,000千円	水産被害	44,994千円	被害総額	79,994千円						
土木被害	35,000千円													
水産被害	44,994千円													
被害総額	79,994千円													
平成23年9月2日 ～6日	台風12号	9月2日日本列島に停滞した前線に向かって台風12号が接近したため、前線活動が活発化したことによる雨が重なり、鵠川地区の連続雨量は166mm、穂別地区は168.5mmで、3日午後4時に鵠川地区で時間最大雨量は24mm、2日午後3時に穂別地区は22.5mmを記録、5日間にわたり雨が降り続いた。 このため、小河川や一級河川が増水し、町道、普通河川、林道など被害総額は11,950千円の被害を受けた。 <table><tr><td>土木被害</td><td>10,400千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>1,300千円</td></tr><tr><td>その他被害</td><td>250千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>11,950千円</td></tr></table>	土木被害	10,400千円	林業被害	1,300千円	その他被害	250千円	被害総額	11,950千円				
土木被害	10,400千円													
林業被害	1,300千円													
その他被害	250千円													
被害総額	11,950千円													
平成24年9月9日 ～12日	豪 雨	9月9日から12日の豪雨により、鵠川地区の総雨量は129.5mm、穂別地区の総雨量は176.5mmで、9日午後1時に鵠川地区の時間最大雨量は19.5mm、穂別地区では10日午前9時に22.5mmを記録、強い大雨であった。 このため、町道、普通河川、林道、水稻倒伏や営農施設など被害総額9,650千円の被害があった。 <table><tr><td>農業被害</td><td>150千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>8,700千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>800千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>9,650千円</td></tr></table>	農業被害	150千円	土木被害	8,700千円	林業被害	800千円	被害総額	9,650千円				
農業被害	150千円													
土木被害	8,700千円													
林業被害	800千円													
被害総額	9,650千円													

平成24年9月25日	大 雨	9月24日から26日の大雨により、鵠川地区の総雨量は154mm、穂別地区の総雨量は68mmで、25日午前5時に鵠川地区の時間最大雨量は37mm、穂別地区では25日午前8時に14mmを記録、強い大雨であった。 このため、農作物の冠水、町道、普通河川に被害総額4,600千円の被害があった。 <table><tr><td>農業被害</td><td>300千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>4,300千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>4,600千円</td></tr></table>	農業被害	300千円	土木被害	4,300千円	被害総額	4,600千円						
農業被害	300千円													
土木被害	4,300千円													
被害総額	4,600千円													
平成24年11月27日	暴 風	11月26日夜から27日朝方にかけて強い風が吹き、鵠川地区で午前5時59分に最大瞬間風速25.2mの暴風があった。 このため、住宅屋根の被害1件、営農施設被害24棟、公共施設被害1件の被害総額1,685千円の被害があった。 <table><tr><td>住家被害</td><td>50千円</td></tr><tr><td>農業被害</td><td>900千円</td></tr><tr><td>公共施設被害</td><td>735千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>1,685千円</td></tr></table>	住家被害	50千円	農業被害	900千円	公共施設被害	735千円	被害総額	1,685千円				
住家被害	50千円													
農業被害	900千円													
公共施設被害	735千円													
被害総額	1,685千円													
平成24年12月6日	暴 風	12月6日から7日にかけて急速に発達した低気圧による強い風が吹き、鵠川地区で6日午前11時5分に最大瞬間風速26.0mの暴風があった。 このため、住宅屋根の被害1件、営農施設被害92棟の被害総額8,842千円の被害があった。 <table><tr><td>住家被害</td><td>50千円</td></tr><tr><td>農業被害</td><td>8,792千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>8,842千円</td></tr></table>	住家被害	50千円	農業被害	8,792千円	被害総額	8,842千円						
住家被害	50千円													
農業被害	8,792千円													
被害総額	8,842千円													
平成26年9月11日	大雨特別警報	9月10日から11日にかけて、北海道の上空に停滞する低気圧と寒気の影響により、大気が不安定となり胆振地方を中心に11日未明から猛烈な降雨となり、むかわ町では大雨特別警報・大雨警報・洪水警報・土砂災害警戒情報の発令により、午前11時32分に避難勧告を発令、避難者は10名であった。総雨量は鵠川地区で77.5mm、穂別地区で65.5mm、時間最大雨量は鵠川地区で46.0mm、穂別地区で25.0mmを記録した。人的被害はなかったものの土木、林道、河川等に被害があった。 <table><tr><td>道路橋りょう等被害</td><td>2,700千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>2,200千円</td></tr><tr><td>林道被害</td><td>2,600千円</td></tr><tr><td>河川被害</td><td>800千円</td></tr><tr><td>その他被害</td><td>607千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>8,907千円</td></tr></table>	道路橋りょう等被害	2,700千円	土木被害	2,200千円	林道被害	2,600千円	河川被害	800千円	その他被害	607千円	被害総額	8,907千円
道路橋りょう等被害	2,700千円													
土木被害	2,200千円													
林道被害	2,600千円													
河川被害	800千円													
その他被害	607千円													
被害総額	8,907千円													
平成27年3月11日	大 雪	3月10日から穂別地区では13時30分頃から降雪が激しくなり、16時14分頃から、栄、和泉、豊田、穂別の約180戸で停電が発生した。17時56分に穂別地区5箇所避難所を開設するも、大雪のため住民が避難所まで移動できないことから、重機による緊急除雪を開始した。18時13分に大雪警報が発令された。また、この大雪により農業用ビニールハウス33棟に被害があった。総雨量は鵠川地区で63.5mm、穂別地区で43.0mmとなり、時間最大雨量は両地区で9.0mmを記録した。 <table><tr><td>農業被害</td><td>24,724千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>24,724千円</td></tr></table>	農業被害	24,724千円	被害総額	24,724千円								
農業被害	24,724千円													
被害総額	24,724千円													
平成27年9月17日	津波注意報	日本時間、9月17日午前7時54分頃にチリ中部沖で発生(M8.3)した地震により、北海道へ津波が到達する場合は概ね21時間後(18日午前6時頃)の見込み。17日夕方に晴海町全域に広報車にて津波情報の広報を実施する。18日午前3時5分に災害対策本部を設置。自主避難者用として2避難所を開設するも避難はなく、津波による被害もなかった。 津波観測値 ～ 18日午後0時29分 苫小牧東港0.2m												

平成27年10月1日	暴風・高波	10月1日から3日にかけて急速に発達する低気圧の影響で、風が強まり海では大しけとなることを見込まれるなどと札幌气象台から発表された。むかわ町では、暴風による倒木及びビニールハウスの倒壊等の被害が発生した。 農業被害 536千円 水産被害 100千円 被害総額 636千円
平成28年1月14日	地震	12時25分頃、むかわ町では震度4の地震が発生した。震源地は浦河沖でM2.7と推定され若干の海面変動があるかもしれないが、被害の心配はない旨の報道があった。むかわ町においては人的、物的被害なし。
平成28年6月17日	大雨	6月16日から17日にかけて低気圧の影響により大雨となった。総雨量は鵒川地区で76.5mm、穂別地区で137mmとなり、時間最大雨量は鵒川地区で10.5mm、穂別地区で17.0mmを記録した。 このため、普通河川、道路に被害総額16,600千円の被害があった。 土木被害 16,600千円 被害総額 16,600千円
平成28年8月17日	台風	台風7号により8月17日未明からの暴風雨により、倒木、IRU断線等の被害があった。降り始めからの総雨量が鵒川地区で76.5mm、穂別地区で96.0mmとなり、時間最大雨量は鵒川地区で11.5mm穂別地区で19.0mmを記録した。 土木被害 200千円 その他の被害 600千円 被害総額 800千円
平成28年8月21日 ～23日	台風	台風7号の影響がなくなる前に台風11号、9号と続けて北海道に上陸した。台風11号では、激しい雨により河川の水位の上昇、倒木等があった。自主避難者5世帯6名が避難した。台風9号では豪雨により大雨警報、洪水警報、暴風警報、土砂災害警戒情報、鵒川はん濫危険情報の発令により避難勧告を発令、避難者は45世帯64名であった。人的被害はなかったものの、床下浸水3件、道路、河川、林道、水産、農作物等に被害があった。3日間の総雨量は鵒川地区で219.5mm、穂別地区で231.0mmとなり、時間最大雨量は、鵒川地区で28.0mm、穂別地区で22.0mmを記録した。 土木被害 420,900千円 農業被害 202,483千円 水産被害 1,300千円 林業被害 77,400千円 被害総額 702,083千円
平成28年8月30日 ～31日	台風	非常に発達した台風10号の接近により、波浪警報、暴風警報、高潮注意報が発令された。汐見地区及び晴海地区が満潮及び高潮・高波の影響で冠水した。床下浸水5件、倒木等の被害のほか、汐見1区飲料水供給施設に冠水した水が混入したことから、飲用水としての利用を制限し、飲料水の各戸配布を行った。 水産被害 9,400千円 被害総額 9,400千円

平成30年9月6日	地震	3時7分頃、胆振地方中東部内陸でM6.7の最大震度7の地震が発生した。むかわ町では震度6強を観測し、甚大な被害をもたらした。全道で大規模な停電となり、北海道各地で被害をもたらしたため、激甚災害に指定された。本震後、半年以上にわたり300回以上の余震が発生している。また、地震による断水や濁り水が発生したため、自衛隊等による支援が行われたほか、消防・警察による巡回等及びボランティアによる支援が行われた。避難者の最大値は1,033名（避難所13箇所）であった。むかわ町の被害としては、人的被害が死者1名、重傷者27名、軽傷250名となった。建物被害のうち住家が全壊41戸、大規模半壊15戸、半壊190戸、一部損壊3,063戸となり、非住家が全壊183戸、大規模半壊16戸、半壊144戸、一部損壊577戸となった。 土木・学校・公営住宅・火葬場関連 約20億円 上下水道施設関連 約4億3千万円 農地・農業用施設・営農施設関連 約82億5千万円 商工業関連 約18億4千万円 水産業関連 約3億8千万円 林業関連 約62億4千万円 社会福祉施設関連 約1億9千万円 医療施設関連 約6千万円 被害総額 計 約193億9千万円 (令和元年6月30日現在)
令和元年8月16日 ～17日	台風	台風10号により8月16日からの集中豪雨により、一部普通河川で氾濫が見られ、公共土木施設、農地などで冠水及び浸水の被害が発生した。降り始めからの総雨量が鵒川地区で72.5mm、穂別地区で57.5mmとなり、時間最大雨量は鵒川地区で18.5mmを記録した。 河川被害 5,600千円 道路被害 5,700千円 農地被害 950千円 被害総額 約12,250千円
令和3年2月15日 ～16日	暴風雪	2月15日から16日にかけて低気圧の影響により強風となった。最大瞬間風速は25.8mを記録した。 このため、普通河川、公共施設、農地などに被害が発生した。 河川被害 4,500千円 農業被害 8,783千円 農業施設被害 1,433千円 水産被害 1,110千円 道路被害 1,400千円 被害総額 約17,226千円
令和4年2月22日	大雪	2月22日に発達した低気圧により、断続的に降った大雪により農業施設に被害が生じた。鵒川地区で18件、穂別地区で1件の被害が発生した。 農業被害 18,275千円 被害総額 18,275千円

令和4年8月15日 ～16日	大 雨	8月15日から16日にかけて低気圧の影響により大雨となった。総雨量は鵜川地区で82.5mm、穂別地区で129.5mmとなり、時間最大雨量は鵜川地区で31.0mm、穂別地区で27.5mmを記録した。 このため、床下浸水2件（穂別地区）、普通河川、道路、農道、公園、農業、林業に被害総額402,423千円の被害があった。 <table><tr><td>河川被害</td><td>95,800千円</td></tr><tr><td>道路被害</td><td>217,000千円</td></tr><tr><td>農道被害</td><td>1,600千円</td></tr><tr><td>公園被害</td><td>7,000千円</td></tr><tr><td>農業被害</td><td>47,723千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>33,300千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>402,423千円</td></tr></table>	河川被害	95,800千円	道路被害	217,000千円	農道被害	1,600千円	公園被害	7,000千円	農業被害	47,723千円	林業被害	33,300千円	被害総額	402,423千円
河川被害	95,800千円															
道路被害	217,000千円															
農道被害	1,600千円															
公園被害	7,000千円															
農業被害	47,723千円															
林業被害	33,300千円															
被害総額	402,423千円															
令和6年8月27日 ～28日 令和6年8月31日	大 雨	8月27日から28日にかけて、低気圧の影響により大雨となった。総雨量は鵜川地区で106.5mm、穂別地区で113.0mmとなり、時間最大雨量は鵜川地区で25.0mm、穂別地区で23.5mmを記録した。 また、8月31日に気圧の影響により短時間に大雨となった。総雨量は鵜川地区で39.0mm、穂別地区で44.0mmとなり、時間最大雨量は鵜川地区で17.5mm、穂別地区で23.5mmを記録した。 このため、普通河川、道路、公園、農業に被害総額24,579千円の被害があった。 <table><tr><td>河川被害</td><td>7,300千円</td></tr><tr><td>道路被害</td><td>7,900千円</td></tr><tr><td>公園災害</td><td>100千円</td></tr><tr><td>農業被害</td><td>9,279千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>24,579千円</td></tr></table>	河川被害	7,300千円	道路被害	7,900千円	公園災害	100千円	農業被害	9,279千円	被害総額	24,579千円				
河川被害	7,300千円															
道路被害	7,900千円															
公園災害	100千円															
農業被害	9,279千円															
被害総額	24,579千円															

2 旧鵠川町

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
明治31年9月6日	洪水	早朝来の豪雨に、翌日7日はさらに強風を加え、各河川濁流はん濫猛威を振るう。町内を貫流する鵠川も7日未明から水嵩を増し、上流から大木が折り重なって流れ、それが川をせきとめては一時に流れ、兩岸の田は、殆ど濁流に吞まれ、人畜の被害も甚しく、家屋流失160戸、死者31名。
大正2年8月27日	暴風雨	5月から7月にかけて低温続きで水稻の発育を大きく阻害した。 7月下旬から8月にかけて異常なかん天が打続き、8月27日には稀にみる大暴風雨が襲来し、人畜にも大きな被害となった死者1名。この年は農業被害が大きく収穫も皆無となり災厄続きのひどい年であった。
大正11年8月24日	洪水	全道的な降雨が続いていたところに台風が襲来し、23日午後から激しい雨となり、夜に入って豪雨となった。 このため、市街から井目戸地藏尊下まで一面の濁流と化し、完成を目前にした現在の旭生橋と2年前（大正9年）竣工したばかりの鵠川大橋の両橋とも流出する。 また流域田畑の荒廃やかんがい施設の決壊埋没など、一時は再起不能と呆然とする農家も少なくなかった。 ただ連日の雨続きで警戒していたため、人畜に大きな被害を生じなかったことは不幸中の幸であった。災害復旧費3,857円で村財政の打撃が甚大であった。
昭和14年7月10日 ～11日	豪 雨	渡島半島付近に停滞した低気圧の影響で連日降雨、各河川のはん濫があったが、被害は少なかった。
昭和27年3月4日	地 震	工場施設等の破損により被害額1億5千900万円に達し、罹災者834人であった。

昭和29年9月26日 ～27日	台 風	26 日夕方から翌朝にかけて、道南・道央を縦断した台風15号は25mから30mを越える風速のため、全半壊家屋898戸、植林地或いは庭園の樹木は根こそぎ吹き倒され、主作物の稲は稲首をもぎとられる等、太平洋からの潮風で作物は塩害をこうむり、被害額3億1千640万円に達した。
昭和34年4月23日	暴 風 雨	海上で風速30mから40m、陸上で35mをこえる暴風雨となった。 このため家屋の被害が甚大で、住居、納屋等の全半壊は280戸に達し、被害額821万円。また、温床の時期であったため、温床障子の被害が非常に大きく98万7千円の被害となった。
昭和36年7月24日 ～26日	集中豪雨	当地方一帯に集中豪雨があり、72mmの雨量があった。 鵠川上流の穂別地域では152mmに達した。 このため川沿の田畑が甚大な被害を受け、農地、農作物を始め、道路決壊等その被害額は9千373万円。
昭和37年8月3日 ～9日	台 風	3日から9日にかけて台風9号、台風10号が連続して当地方を襲い最大風速32mの強風と、鵠川上流の山間地域で300mmの豪雨をもたらし、このため、鵠川がはん濫し、春日橋、生べつ橋の両長大橋が流失したほか、川東、川西の両頭首工が決壊した。 また、田畑の冠水面積1,316ha。浸水家屋369戸、被害額9億3千万円となった。
昭和43年5月16日	地 震	1968年十勝沖地震と命名され、鵠川町は、震度5で、公共施設、その他住居などの破損により被害額3億3千万円であった。
昭和50年8月19日 ～20日	台 風	台風5号により19日朝より降り始めた雨は夜半に入り豪雨に変わり、20日夕刻までに154mmの雨量となった。 このため小河川等がはん濫し床上浸水家屋3戸、床下浸水20戸、田畑の冠水面積119ha、道路、河川の欠壊9カ所、被害額2千633万円であった。
昭和50年8月23日	台 風	台風5号の復旧が完了しないうちに台風6号が襲来し、雨量113mmとなり小河川等が全域にわたりはん濫し、田畑冠水420ha、河川・道路の欠壊30カ所、林道・農業用施設などに甚大な被害を受け、1億2千604万円の被害額となった。
昭和56年8月3日	集 中 豪 雨	3日から6日にかけて全道をおそった集中豪雨は本町でも298.5mmとかつてない降雨量となり山沿いでは崖崩れが各所におき、このため尊い人命が奪われました。 また各所で道路が寸断され、農用地が冠水、農業用排水路はいたるところで欠壊破損したほか橋梁2橋が流失するなど被害総額は19億1千608万円であった。死者1名。
昭和56年8月27日 ～24日	台 風	21日から24日にかけての台風15号と前線による大雨により瞬間最大風速38mに達した。 この記録的な強風により農作物は潮風害を受け、また樹木の倒伏等全町的に大きな被害を受けた被害総額は13億9千681万円であった。
昭和57年3月21日	地 震	「昭和57年（1982年）浦河沖地震」と命名され、軽種馬の骨折、公共施設、商品等の破損により被害額2千138万円であった。

平成4年8月8日 ～9日	台風	8月8日から9日にかけての台風10号と、前線による北海道中部を中心とした大雨により、胆振東部、日高西部に記録的豪雨をもたらした。 本町の連続降雨量は211mm、午後3時から4時までの時間最大降雨量は39mmを記録、短時間に非常に強い豪雨であった。このため、小河川や一級河川が一気に増水し、沿川各所は多くの被害を受けた。 一時期は、鵒川の水位が昭和56年に記録した最高水位を1m近く越えるまでに及び、はん濫の恐れがあったほどである。人的被害はなかったが、床上・床下浸水、町道、農業用排水路決壊・破損、橋梁流失、田畑埋設・冠水被害、河川泥流流失により前浜のホタテ貝が死滅するなど被害総額は33億円に達し、年間予算規模に四敵する大被害であった。 農業被害 951,390千円 土木被害 1,393,280千円 水産被害 422,416千円 林業被害 471,479千円 その他被害 20,973千円 被害総額 3,259,538千円
平成5年1月15日	地震	1月15日、20時06分頃、震度4の釧路沖地震（北緯42度8分、東経144度4分、震源深さ約120km、マグニチュード7.5）により、商店街の建物、商品等に被害を受けた。 地震名「平成5年釧路沖地震」 商工被害（商品その他） 教育施設 被害総額 6,350千円
平成5年11月28日	竜巻	1月28日、0時40分頃、竜巻がおり、民家、工場などの窓ガラス、屋根に被害をうけた。 被害総額 2,780千円
平成6年5月27日	強風雨	5月27日の強風雨は突風を伴い、ビニールハウス、公園、文教施設等に被害を受けた。 被害総額 995千円
平成6年9月18日	波浪	台風24号接近の影響で、18日から19日にかけて5mから7mの高波が鵒川沿岸を襲い、被害を受けた。 床上・床下浸水 2戸 コンクリート製品・機械冠水 被害総額 85,570千円
平成6年10月4日	地震	10月4日、22時23分、震度4の北海道東方沖地震（北緯43.4度、東経149.9度、震源の深さ約20km、マグニチュード7.9）により、商店の商品等に被害を受けた。 商店被害件数 14件 被害総額 980千円
平成7年11月8日	暴風・波浪	11月8日朝から9日夕にかけて、最大風速が、陸上で20から25mの暴風が吹き、農業施設に被害を受けた。 ビニールハウス 39棟 墓地施設等 5件 被害総額 1,980千円
平成7年12月24日	風雪	大雪と強風により、ビニールハウス4棟に被害を受けた。
平成9年8月9日 ～10日	大雨	8月9日～10日の大雨により降雨量は238mmに達し、農地、農作物を始め、林道及び普通河川等に被害を受けた。 農業被害 9,871千円 林業被害 26,800千円 水産被害 2,000千円 土木被害 324,400千円 被害総額 363,071千円

平成10年8月28日 ～29日	大 雨	8月28日早朝から活発な前線の影響により翌29日にかけて 116 mmの降雨となり、床下浸水1戸、農作物、河川、道路等に被害を受けた。 床下浸水 1戸 農業被害 19,535千円 土木被害 73,800千円 林業被害 30,700千円 その他 20,300千円 被害総額 144,335千円
平成11年5月5日	大 雨	5月5日発達した低気圧の接近に伴い、未明から降り出した雨は、生田地区において 127.5 mmに達し、河川、道路等に被害を受けた。 土木被害 40,650千円 林業被害 1,100千円 被害総額 41,750千円
平成12年5月12日 ～14日	大 雨	5月12日低気圧の通過に伴い、14日までに降り始めから 233 mmの降雨量となり、農地、農業用施設を始め、河川、道路等に被害を受けた。 農業被害 11,900千円 土木被害 25,600千円 林業被害 29,943千円 その他 1,400千円 被害総額 68,843千円
平成12年7月26日 ～27日	大 雨	停滞した前線の影響で7月26日から27日にかけて大雨となり河川、道路に被害を受けた。 土木被害 5,500千円
平成12年8月15日 ～16日	大 雨	気圧の谷の通過と台風9号の影響で大雨となり一級河川「鶴川」が増水し、河川緑地公園が冠水し 3,360 千円の被害を受けた。
平成13年9月11日 ～12日	台 風	台風15号による影響のため、9月11日未明から12日までに 269 mmに達し、住宅床上・床下浸水16戸が浸水し、86世帯201名が一時避難するなど、農地、農作物、河川、道路、教育施設等に被害を受けた。 避難所 4カ所設置 農業被害 618,652千円 土木被害 158,550千円 林業被害 101,800千円 水産被害 1,600千円 衛生被害 30,000千円 教育施設 26,136千円 被害総額 936,815千円

平成15年8月9日 ～10日	台 風	8月9日北海道の南海上に停滞した前線に向かって台風10号が接近したため、前線活動が活発化したことによる雨と台風10号本体による雨が重なり、大雨となり、生田地区では192mmに達し、115世帯371名が一時避難するなど、農地、農作物、河川、道路等に被害を受けた。 <table><tr><td>避難所</td><td>4カ所設置</td></tr><tr><td>住家・非住家被害</td><td>518千円</td></tr><tr><td>農業被害</td><td>709,027千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>145,384千円</td></tr><tr><td>林業被害</td><td>32,380千円</td></tr><tr><td>水産被害</td><td>340,716千円</td></tr><tr><td>その他施設被害</td><td>13,605千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>1,241,112千円</td></tr></table>	避難所	4カ所設置	住家・非住家被害	518千円	農業被害	709,027千円	土木被害	145,384千円	林業被害	32,380千円	水産被害	340,716千円	その他施設被害	13,605千円	被害総額	1,241,112千円
避難所	4カ所設置																	
住家・非住家被害	518千円																	
農業被害	709,027千円																	
土木被害	145,384千円																	
林業被害	32,380千円																	
水産被害	340,716千円																	
その他施設被害	13,605千円																	
被害総額	1,241,112千円																	
平成15年9月26日	地 震	9月26日、4時50分頃、震度5強の十勝沖地震（北緯41度47分、東経144度5分、震源深さ約42km、マグニチュード8.0）により、人的被害、商店街の建物、商品等に被害を受けた。 <table><tr><td>地震名「平成15年十勝沖地震」</td><td></td></tr><tr><td>人的被害 重傷者2人、軽傷者9人</td><td></td></tr><tr><td>商工被害（商品その他）</td><td>9,200千円</td></tr><tr><td>土木被害</td><td>59,100千円</td></tr><tr><td>農業施設</td><td>7,952千円</td></tr><tr><td>被害総額</td><td>85,203千円</td></tr></table>	地震名「平成15年十勝沖地震」		人的被害 重傷者2人、軽傷者9人		商工被害（商品その他）	9,200千円	土木被害	59,100千円	農業施設	7,952千円	被害総額	85,203千円				
地震名「平成15年十勝沖地震」																		
人的被害 重傷者2人、軽傷者9人																		
商工被害（商品その他）	9,200千円																	
土木被害	59,100千円																	
農業施設	7,952千円																	
被害総額	85,203千円																	

3 旧穂別町

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
明治31年9月6日	洪 水	早朝来の豪雨に、翌7日は更に強風を加え、各河川濁流はん濫猛威を振るう。町内を貫流する鵠川も翌7日に大はん濫し、上流の富内地区の市街地までが水に浸かり、下流の和泉、豊田、栄、仁和地区では、一面水中に没した。鵠川全沿岸の家屋の流失160戸、溺死者3人、その他道路、橋梁の決壊は無数。
大正2年8月27日	暴 風 雨	5月末から7月中旬にかけての低温、7月下旬から8月にかけての異常な旱天、8月27日には稀に見る大暴風雨が襲来し、農作物は田畑ともほぼ収穫皆無。
大正11年8月24日	洪 水	8月23日午後から激しい雨となり、24日には台風が襲来し、雷雨を伴う猛烈な豪雨となる。降雨量は300mmを超え、各支流からどっと鵠川に流れ込み、瞬く間に大はん濫となった。 農作物は多大な被害を受けるも人畜に大きな被害なし。
昭和5年6月1日	山 火 事	辺富内村有林（坊主山）で発生。完全消火まで1週間を要す。
昭和8年8月8日	水 害	字下穂別に出水。増水4.2m、鉄道線路一町余り氾濫
昭和22年5月11日	山 火 事	富内シマロツブ沢より出火
昭和29年9月26日	台 風	台風15号（家屋被害）全壊13戸、半壊14戸（農業被害）1,312ha（洞爺丸遭難、本町関係者3名死亡）
昭和31年4月17日	火 災	町立新登川小中学校153.75坪焼失、（被害総額）4,600千円

昭和32年9月17日	集中豪雨	連続雨量 102 mm(農業被害)流失埋没田 3 町歩、同畑 38 町歩(被害総額)6,302 千円
昭和33年7月22日	台風	台風 11 号、連続雨量 150 mm、死者 3 名、行方不明者 1 名(住宅被害)、全壊 2 戸、床上浸水 20 戸(土木被害)道路決壊 8 箇所、橋梁流失破損 5 箇所(農業被害)流失埋没田 16 町歩、同畑 53 町歩(被害総額)62,620 千円
昭和36年7月24日	集中豪雨	連続雨量 183.8 mm、死者 2 名、負傷者 2 名(家屋被害)全壊 2 戸半壊 1 戸、床上浸水 6 戸、床下浸水 27 戸、(土木施設被害)道路決壊 12 箇所、橋梁流出破損 14 箇所。(農業被害)流失埋没田 135 町歩、同畑 32 町歩(被害総額)295,889 千円
昭和37年8月4日	台風	台風 9 号猛威振るう。連続雨量 263 mm、死者 1 名、(家屋被害)流出 4 戸、床上浸水 105 戸、床下浸水 113 戸(土木被害)道路決壊 20 箇所、橋梁被害 9 箇所、河川被害 55 箇所(被害総額)847,771 千円
昭和39年2月11日	火災	町立仁和小中学校 1,950 m ² 焼失 被害総額 35,277 千円
昭和41年8月17日	集中豪雨	死者 2 名(家屋被害)床下浸水 5 戸(土木被害)道路決壊 37 箇所、(被害総額)81,661 千円
昭和50年8月23日	台風	台風 6 号、連続雨量 156 mm(家屋被害)床上浸水 7 戸、床下浸水 36 戸(土木被害)77 箇所、(被害総額)515,887 千円
昭和56年6月10日	火災	字豊田 赤川利之氏宅で発生。全焼、死者 5 名
昭和56年8月3日	台風	台風 12 号、連続雨量 264.9 mm、負傷者 1 名(家屋被害)床上浸水 2 戸、床下浸水 6 戸(土木被害)13 箇所、地滑り 9 箇所等
昭和56年8月21日	台風	台風 15 号(家屋被害)倒壊 2 棟、一部破損 5 棟(農業被害)流出埋没田 661ha、同畑 257ha(土木被害)道路決壊 5 箇所、河川決壊 3 箇所、橋梁流出破損 1 箇所(被害総額)367,631 千円
昭和57年3月21日	地震	浦河沖地震、震度 5 負傷者 2 名(家屋被害)半壊 1 棟(商工被害)60 件(被害総額)51,198 千円
平成2年4月23日	大雨	(農業被害)流出埋没田 8 ha、農業用施設被害 3 箇所(土木被害)河川決壊 5 箇所、道路決壊 17 箇所(被害総額)120,750 千円
平成4年8月9日	台風(激甚)	台風 10 号、連続雨量 243 mm、最大時間雨量 40 mm、(家屋被害)破損 2 戸、床上浸水 16 戸、床下浸水 93 戸、(公共施設被害)20 戸(農業被害)流出埋没田 670ha、同畑 228ha、農業施設破損 249 箇所、(土木被害)道路決壊 251 箇所、その他被害 33 箇所、(被害総額)15,051,000 千円
平成9年8月9日 ～10日	大雨	連続雨量 139 mm、土木被害、道路 3 箇所、河川 2 箇所、林道 2 箇所、その他 15 箇所、農業被害、水田 12.6ha、畑 28.6ha、農業施設 6 箇所、その他 2 箇所 被害総額 146,151 千円
平成10年8月28日 ～29日	大雨	連続雨量 218.5 mm、最大時間雨量 37.5 mm、(家屋被害)床下浸水 9 箇所、公共施設 1 箇所(土木被害)道路 27 箇所、河川 42 箇所、その他 10 箇所、林道・治山 8 箇所(農業被害)水田 79ha、畑 53 ha、農業施設 30 箇所、商工被害 2 箇所 (被害総額)666,999 千円

平成11年5月4日 ～5日	大 雨	連続雨量 114 mm、土木被害、道路 17 箇所、河川 211 箇所、 農業被害、畑 2.15ha、農業施設 3 箇所 被害総額 9 2, 5 9 0 千円
平成12年5月13日	大 雨	連続雨量 211 mm (土木被害) 道路 29 箇所、河川 12 箇所 (林 業被害) 林道 11 箇所 (農業被害) 田 2 ha、畑 1 ha、その他 5 ha (被害総額) 7 5, 2 3 1 千円
平成12年8月15日 ～16日	大 激 雨 甚	連続雨量 194 mm、時間雨量 48 mm (家屋被害) 床下浸水 6 戸、側溝全壊 2 箇所 (土木被害) 道路 28 箇所、河川 10 箇所、 橋梁 1 箇所 (林業被害) 林道 7 箇所 (農業被害) 農地 1,420ha、 農作物 1,826ha、農業施設 6 箇所、水道 1 箇所 (被害総額) 5 2 3, 5 0 0 千円
平成13年9月11日	台 風	台風 15 号、連続雨量 268 mm (家屋被害) 床上浸水 1 戸、 床下浸水 2 戸 (土木被害) 道路 57 箇所、河川 34 箇所、橋梁 3 箇所 (林業被害) 林地 3 箇所、治山 2 箇所、林道 27 箇所 (農業被害) 農地 170.6ha、農作物 308.8ha、農業施 設 80 箇所 (その他被害) 2 箇所 (被害総額) 8 4 9, 8 8 5 千円
平成15年8月9日 ～10日	台 風	8 月 9 日北海道の南海上に停滞した前線に向かって台風 10 号が接近したため、前線活動が活発化したことによる雨 と台風 10 号本体による雨が重なり、大雨となり、穂別アメ ダス観測点では 197 mmに達し、特に占冠村や日高町で降った 雨により穂別大橋では 10 日午前 2 時 20 分から 50 分に計画 高水位を 27 cm上回る過去最高の 57.97m (海拔) を記録した。 11 世帯 25 名が一時避難するなど農地、農作物、河川、道路 等に被害を受けた。 避難所 2 カ所設置 農業被害 1 8 4, 1 0 7 千円 土木被害 3 2 0, 1 3 9 千円 林業被害 1 6 2, 6 3 2 千円 衛生被害 8 5 0 千円 その他施設被害 5 6, 1 4 7 千円 被害総額 7 2 3, 8 7 5 千円
平成15年9月26日	地 震	9 月 26 日、4 時 50 分頃、震度 5 強の十勝沖地震 (北緯 41 度 47 分、東経 144 度 5 分、震源深さ約 42 km、マグニチュー ド 8.0) により、一般住宅、商店街の建物、商品等に被害を 受けた。 地震名「平成 15 年十勝沖地震」 一般被害 1, 3 5 4 千円 商工被害 (商品その他) 3, 8 1 0 千円 被害総額 5, 1 6 4 千円
平成16年9月7日 ～8日	暴 風	台風 18 号 (家屋被害) 損壊 2 戸 (土木被害) 道路 6 路線 林業被害) 風倒木 4 7. 0 8 ha (被害総額) 4 0, 6 0 1 千円
平成17年9月7日	大 雨	台風 14 号 (総雨量) 154mm (土木被害) 道路 29 カ所、河 川 11 カ所 (農業被害) 農地 56.3ha (林業被害) 林道 3 カ所 (被害総額) 1 0, 7 6 8 千円

第4章 災害予防計画

第2節 防災訓練計画関係

鵜川むかわ町水害タイムライン構成機関

No.	機 関 名	部 署 等	
1	むかわ町	情報防災対策室（事務局）	
2		総括部	
3		総括部情報収集発信班	
4		応急対策部	
5		住民対策部	
6	むかわ町自治会町内会連合会		
7	社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会		
8	胆振東部消防組合	消防署鵜川支署	
9		消防署穂別支署	
10		鵜川消防団	
11		穂別消防団	
12	鵜川土地改良区		
13	鵜川農業協同組合		
14	とまこまい広域農業協同組合	穂別支所	
15	北海道開発局室蘭開発建設部	治水課（事務局）	
16		防災課	
17		公物管理課	
18		道路整備保全課	
19		鵜川沙流川河川事務所	
20		苫小牧道路事務所	
21	北海道森林管理局胆振東部森林管理署		
22	陸上自衛隊第7師団	第7特科連隊第2大隊	
23	北海道胆振総合振興局	地域創生部危機対策室	
24		室蘭建設管理部	治水課
25			維持管理課
26			苫小牧出張所
27	北海道警察	札幌方面苫小牧警察署	
28	N T T 東日本	北海道事業部	
29	北海道電力株式会社	日高水力センター土木課	
30	北海道電力ネットワーク株式会社	富川ネットワークセンターお客様サービス課	
31	気象庁札幌管区气象台	室蘭地方气象台	

第3節 物資及び防災資機材等の整備・確保に関する計画関係

第3 備蓄倉庫等の整備

1 防災資機材倉庫

鷗川防災倉庫	大原2丁目2番地1
穂別防災備蓄倉庫	穂別豊田559番地5

2 防災資機材保管場所

役場本庁舎北側物置	美幸2丁目88番地
生涯学習センター「報徳館」	二宮315番地2
穂別総合支所	穂別2番地1

第5節 自主防災組織の育成等に関する計画関係

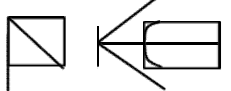
自主防災組織一覧

No.	自主防災組織名	結成年月日	備考
1	二宮自治会自主防災会	H20.1.2	
2	駒場町内会自主防災会	H20.1.25	
3	富内連合自治会 自主防災会議	H 20.2.13	平丘・富内・安住
4	青葉町内会自主防災会	H 21.3.12	
5	花園2丁目町内会 自主防災会	H 21.7.1	
6	鉄北自治会自主防災会	H 23.7.8	
7	花岡二区自治会自主防災会	H 23.12.17	
8	文京大成町内会自主防災	H 24.2.1	
9	福住町内会 自主防災会	H 24.8.21	
10	田浦二区自治会 自主防災会	H 24.12.23	
11	共和自治会自主防災会議	H 26.1.14	
12	明穂自治会自主防災会議	H 26.1.31	
13	田浦一区自治会 自主防災会	H 27.1.3	
14	美幸第1町内会 自主防災会	H 27.1.25	
15	仁和上自治会 自主防災会議	H 27.5.1	
16	ニサナイ自治会 自主防災会	H 27.5.1	
17	双葉自治会 自主防災会議	H 28.2.5	
18	緑ヶ丘自治会 自主防災会議	H 28.7.4	
19	柏自治会 自主防災会議	H 29.1.26	
20	花園町内会 自主防災会	H 29.3.1	
21	末広町内会 自主防災会	H 29.7.1	
22	汐見2区自治会自主防災会	H30.1.5	
23	美幸3・4丁目町内会 自主防災会	H 30.2.1	
24	和泉下自治会自主防災会議	H 30.7.1	
25	栄自治会自主防災会議	H 31.2.1	
26	豊泉自治会自主防災会議	R1.7.1	
27	米原自主防災会	R1.12.21	
28	花岡一区自治会自主防災会	R3.4.2	
28	春日自治会自主防災会	R3.9.1	
30	豊城自治会自主防災会	R5.1.8	

※鵜川地区自治会・町内会数：31、穂別地区自治会数：23

第10節 消防計画関係

1 消防信号

区分	種 別	打 鐘 信 号	余韻防止付	備 考
火 災 信 号	近火信号	●—●—●—●—● (連点)	●—V●—V● 12回 約3秒、2秒休み (短声連点)	
	出動信号 団出場区域内	●—●—● ●—●—● (3点)	●—V ●—V 6回 約5秒、約6秒	
	団特命応援 応援信号・出動の時	●—● ●—● ●—● (2点)		
	鎮火信号	● ●—● ● ●—● (1点と2点の斑打)		
山 林 火 災 信 号	出動信号	●—●—● ●—● ● (3点と2点の斑打)	●—V ●—V 5回 約10秒、約2秒	
	応援信号・出動区域 以外に特命応援出動 の時	同上	同上	
火 災 警 報 信 号	火災警報発令信号	● ●—●—●—● ● ●—●—●—● (1点と4点の斑打)	●—V ●—V 2回 約30秒、約6秒	掲示板 火災警報発令中 赤地に白字 形状及び大きさは、 適宜とする。 旗 吹き流し 
	火災警報解除信号	● ● ●—● ● ● ●—● (1点2個と2点の斑打)	●—V ●— 変則1回 約10秒、約3秒 約1分	口頭伝達、掲示板 の撤去、吹き流し 及び旗の降下
演 習 招 集 信 号	演習招集信号	● ●—●—● ● ● ● ● (1点と3点の斑打)	●—V ●—V 2回 約15秒、約6秒	
備 考	1 火災警報発令信号及び火災警報解除信号は、それぞれの1種又は2種以上を併用することができる。 2 信号継続時間は、適宜とする。 3 消防職員又は消防団員の非常招集を行うときは、近火信号を用いることができる。			

2 消防施設

(1) 消防支署及び消防団等

(鵜川地区)

名 称	所 在 地
胆振東部消防組合消防署 鵜川支署	むかわ町青葉1丁目73番地
胆振東部消防組合 鵜川消防団第1分団	むかわ町美幸2丁目76番地1
鵜川消防団第2分団	むかわ町生田441番地5
鵜川消防団第3分団	むかわ町宮戸1088番地1

(穂別地区)

名 称	所 在 地
胆振東部消防組合消防署 穂別支署	むかわ町穂別29番地5
胆振東部消防組合 穂別消防団第1分団	むかわ町穂別29番地20
穂別消防団第2分団	むかわ町穂別富内81番地1
穂別消防団第3分団	むかわ町穂別仁和344番地
穂別消防団第4分団	むかわ町穂別豊田289番地5

(2) 現有人員と機材

(鵜川地区)

人員機械別 職・団別	職 団 員 数	消 防 ポ ン プ 自 動 車 等 の 機 械						
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 ポ ン プ 自 動 車	救 急 車	指 令 車	そ の 他 車 両	計
消防署鵜川支署	1 9	3			1	1	2	7
団本部	3							
第1分団	3 3		2					2
第2分団	2 0		1					1
第3分団	2 3		1					1
女性分団	1 5							
合 計	職 19 団 94 団定数 1 1 5	3	4		1	1	2	1 1

〔令和6年5月現在〕

(穂別地区)

人員機械別 職・団別	職 団 員 数	消 防 ポ ン プ 自 動 車 等 の 機 械						
		水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 ポ ン プ 自 動 車	救 急 車	指 令 車	そ の 他 車 両	計
消防署穂別支署	1 8	1			2	2	4	9
団本部	1 3					1		1
第1分団	2 7	1	1					2
第2分団	2 0		1					1
第3分団	1 2		1					1
第4分団	1 1		1					1
合 計	職 18 団 83 団定数 1 0 0	2	4		2	3	4	1 5

〔令和6年5月現在〕

(3) 消防用水利

			鵜 川 地 区				穂 別 地 区					
			むかわ 市街地	川東 地区	川西 地区	計	市街地	仁和・栄 豊田地区	稲里 地区	富内 地区	福山・ 長和地区	計
消 火 栓	公 設	双口	6			6	2	2	2			6
		単口	29	3	2	34	41	18	2	8		69
	私 設	双口										
		単口	2			2						
	計		37	3	2	42	43	20	4	8		75
防 火 水 槽	公 設	40t 以上	15	8	2	25	17	15	1	6	1	40
		40t 以下		2		2						
	私 設	40t 以上										
		40t 以下										
	計		15	10	2	27	17	15	1	6	1	40
自 然 水 利	河 川			1	1	2						
	沼・地											
	プール											
	計			1	1	2						

〔令和6年5月現在〕

第11節 水害予防計画関係

第4 水防施設及び資材の整備

1 民間等から調達可能な水防資材

調 達 先	住 所	電話番号	調達できる資材
(株) 兼正宮田商会	むかわ町末広2丁目	42-2216	土のう用麻袋、土のう用ビニール袋、なわ
(株) ホーマックニコットむかわ店	むかわ町美幸4丁目	42-3300	土のう用ビニール袋、防水シート
とまこまい広域農業協同組合穂別支所	むかわ町穂別55	45-2211	土のう用布袋、土のう用ビニール袋、スコップ、なわ

第13節 雪害予防計画関係

第5 除雪機械現有数

種 別	台数
ダンプトラック (7 t)	2 台
グレーダー	1 台
タイヤドーザー	2 台
除雪トラック (7 t)	1 台

〔令和4年3月現在〕

第5章 災害応急対策計画

第7節 広域応援・受援計画関係

第3 町が締結している自治体間の相互応援協定

協定先	協定名	締結年月日
富山県砺波市	むかわ町、砺波市災害時相互応援協定	平成19年4月23日
日高町	災害時相互応援に関する協定	平成20年7月1日
財務省北海道財務局北海道、 北海道市長会、北海道町村会	災害時の応援に関する協定	平成26年3月24日
苫小牧市、白老町、厚真町、 安平町	災害時広域相互応援に関する協定	平成27年3月2日
北海道、北海道市長会、北海 道町村会	災害時等における北海道及び市町村相互 の応援に関する協定	平成27年3月31日
熊本県御船町、兵庫県篠山市、 兵庫県丹波市	恐竜化石を活用した自治体連携に伴う基 本協定	平成29年11月26日

第14節 輸送計画関係

第1 輸送の方法

1 道路輸送

(1) 車両の確保

車 種	台数	乗車定員	備 考
バス（大型）	2台	50人、65人	町民生活課管理
バス（中型）	2台	37人	町民生活課管理
マイクロバス	1台	28人	町民生活課管理
ワゴン車	2台	10人	町民生活課管理
バス（大型）	1台	55人	企画町民課管理
バス（中型）	1台	37人	企画町民課管理
マイクロバス	1台	28人	企画町民課管理
ワゴン車	3台	10人、15人	企画町民課管理
トラック（3t）	1台	3人	経済建設課管理
ダンプトラック（7t）	2台	3人	経済建設課管理
グレーダー	1台	2人	経済建設課管理
タイヤドーザー	2台	2人	経済建設課管理
除雪トラック（7t）	1台	3人	経済建設課管理

(2) 燃料の調達

調 達 先	所 在 地	電話番号	取扱品目
鵜川農業協同組合給油所	文京 2 丁目 2 番地	42-2275	ガソリン、軽油、灯油重油、LP ガス
北海道エネルギー（株） 鵜川営業所	美幸 3 丁目 5 番地	42-2154	ガソリン、軽油、灯油、重油
アネザキオイルサービス（株） ※小口燃料配送拠点	美幸 1 丁目 15 番地	42-2527	ガソリン、軽油、灯油、重油
松田エネルギー（株）	田浦 673 番地	42-4423	灯油、重油
日高エア・ウォーター(株)むかわサービスセンター	美幸 1 丁目 12 番地	42-2024	灯油、LP ガス
穂別石油販売(株) ※小口燃料配送拠点	穂別 15 番地 1	45-2618	ガソリン、軽油、灯油 重油
J A とまこまい広域 穂別給油所	穂別 454 番地 1	45-2014	ガソリン、軽油、灯油、重油、LP ガス
日高エア・ウォーター(株)むかわ穂別サービスセンター	穂別 46 番地	45-2425	LP ガス
北海道エナジティック(株)穂別出張所	穂別 35 番地 1	45-7377	LP ガス

(※) 石油備蓄法に基づき拠点病院や避難所等への燃料供給を行う給油所（SS）

3 空中輸送

(2) ヘリコプター発着場所

発 着 場 所	所 在 地	備 考
鵜川中央小学校グラウンド	花園 1 丁目 14 番地	離着陸可能地点
(旧) 宮戸小学校グラウンド	宮戸 280 番地 2	離着陸可能地点
鵜川中学校グラウンド	文京 4 丁目 2 番地	指 定 離 着 陸 場
鵜川高等学校グラウンド	福住 4 丁目 2 番地	離着陸可能地点
宮戸地区水防拠点	宮戸 1356 番地 1	ヘリポート設備あり
穂別野球場	穂別 448 番地 9	離着陸可能地点
穂別小学校グラウンド	穂別 114 番地 2	離着陸可能地点
(旧) 仁和小学校グラウンド	穂別仁和 344 番地	離着陸可能地点
(旧) 富内小学校グラウンド	穂別富内 91 番地 3	離着陸可能地点
(旧) 和泉小学校グラウンド	穂別和泉	離着陸可能地点
(旧) 稲里小学校グラウンド	穂別稲里 224 番地 1	離着陸可能地点
鵜川左岸ヘリポート	穂別橋上流 100m	ヘリポート設備あり
富内銀河会館ヘリポート	穂別富内 81 番地 15	ヘリポート設備あり
むかわ穂別 IC ヘリポート	穂別 233 番地	ヘリポート設備あり

(3) 北海道消防防災ヘリコプター臨時離着陸場所の条件等

①連絡先

北海道総務部危機対策局危機対策課防災航空室

〒007-0852 札幌市東区栄町964番地（陸上自衛隊丘珠駐屯地内）

TEL 011-782-3233 FAX 011-782-3234

道防災行政無線 6-210-39-897, 898

②北海道消防防災ヘリコプター臨時離着陸場所選定条件

離着陸帯の広さ

- ・密集地においては21^{メートル}×17^{メートル}の確保ができること。
- ・非密集地においては18^{メートル}×14^{メートル}の確保ができること。

非密集地とは、周囲に民家や他の構築物がなく、広く開放されている場所で、これ以外の場所は、全て密集地として扱う。

周囲の障害物の状況

- ・離着陸帯を中心として、その周囲500^{メートル}先まで1/8の勾配（約7.1°）の傾斜面状に出る障害物がないこと。
- この条件を満足できない場合は、少なくとも相対する2方向（なるべく恒風方向）において、この条件を満足すること。

離着陸帯の条件

- ・平坦な場合であり、かつヘリコプターの重量に耐える地盤の強度が確保できること。
- ・地盤の緩い草地等については、転圧をするか、ロードマット又は鉄板等を敷設する。
- ・離着陸帯及びその周辺は、ヘリコプターのローター吹き出し風（ダウンウォッシュ）によって飛散するようなものがないように、整理されていること。

その他の参考事項

- ・グラウンド等の場合、地表面が乾燥している時は砂塵の巻き上げ防止のため、十分な散水を行う必要があること。
- ・離着陸帯中央に直径10^{メートル}の正円とHのマークを石灰、ペンキ等でマーキングすることが可能なこと。
- ・救急車等の車両の出入りのよい場所であること。
- ・通信連絡手段を確保できること。

(4) 輸送記録簿

輸 送 記 録 簿

むかわ町

輸送 月日	目 的	輸 送 区 間 (距離)	借 上 等			修 繕					燃 料 費 円	実 支 出 額 円	備 考
			使用車両等		金額	事故車両等		修繕 月日	修繕 費 円	故障 の 概要			
			種類	台数		名称 番号	所有者氏 名						
					円								

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (注) 1 「目的」欄は主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
- 2 都道府県又は市町村の車両等による場合は「備考」欄に車両番号を記入すること。
- 3 借上車両等による場合は有償無償を問わず記入すること。
- 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
- 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

第15節 食糧供給計画関係

第3 炊き出し

1 協力団体

鵜川農業協同組合女性部
鵜川漁業協同組合女性部
むかわ町商工会女性部
ボランティアさつき会
むかわ町日本赤十字奉仕団
株式会社日総
穂別地区自治会婦人部連絡協議会
とまこまい広域農業協同組合女性部（穂別支所）

2 炊き出し施設

施設名	所在地	管理責任者	電話番号	1回の能力
ふれあい町民会館	松風3丁目31番地	むかわ町長	42-2095	150食
若草町民会館	駒場127番地	むかわ町長	42-3277	100食
学習交流センター	福住2丁目180番地	教育委員会	42-3293	100食
ム・ペツ館	末広2丁目38番地6	むかわ町長	42-5959	150食
川西第1集落センター	田浦199番地11	むかわ町長	42-4679	100食
川西第2集落センター	豊城311番地36	むかわ町長	42-3278	100食
春日生活館	春日190番地2	むかわ町長	42-4505	100食
川東第1集落センター	宮戸715番地2	むかわ町長	42-2777	100食
川東第2集落センター	生田441番地3	むかわ町長	42-2240	100食
四季の館	美幸3丁目3番地1	むかわ町長	42-4171	200食
穂別町民センター	穂別2番地1	むかわ町長	45-2111	100食
穂別ふれあい健康センター	穂別81番地	むかわ町長	45-3326	110食
仁和会館	穂別仁和339番地1	むかわ町長	44-5089	50食
栄生活館	穂別栄71番地7	むかわ町長	44-5258	50食
和泉上生活館	穂別和泉226番地16	むかわ町長	45-2909	50食
中央生活館	穂別和泉76番地1	むかわ町長	45-3223	50食
豊田生活館	穂別豊田294番地13	むかわ町長	45-3630	50食
富内銀河会館	穂別富内81番地15	むかわ町長	46-6040	100食
安住生活館	穂別安住72番地2	むかわ町長	46-6211	50食
稲里生活館	穂別稲里243番地2	むかわ町長	45-3732	50食

3 受給者名補

炊き出し受給者記録名簿

受給者名	世帯主	供給月日	主な給食内容			備考 (経費等)
			朝	昼	夜	

第 16 節 給水計画関係

第4 給水資機材保有状況（事前にタンク内の清掃、消毒を行うこと。）

種別	タ		ン		ク		
	1 0 0	2 0 0	5000	1 m³	2 m³	3 m³	1 0 m³
所有先							
経済建設課	1, 600 個	15 個	2 個	1 台	2 台		
消防タンク車					1 台	1 台	1 台

〔令和5年6月現在〕

第5 水道施設

水 道 施 設 名	水 源 所 在 地	日最大供給水量 (m ³)
春日浄水場	むかわ町春日 251 番地	2,440
汐見一区飲料水供給施設	むかわ町汐見 581 番地	110
汐見共同井戸	むかわ町汐見 188 番地 1	40
穂別地区簡易水道 (穂別水源) (仁和水源) (稲里水源)	むかわ町穂別 138 番地 4 むかわ町穂別仁和 302 番地 6 むかわ町穂別稲里 415 番地 1	1,800 (546) (227) (1,027)
富内地区簡易水道	むかわ町穂別富内 89 番地 17 地 先	120
平丘地区共同井戸	むかわ町穂別平丘 36 番地 1	14
安住第 1 地区共同井戸	むかわ町穂別安住 1 番地 1	17.4
安住第 2 地区共同井戸	むかわ町穂別安住 292 番地 4	19.6
福山地区共同井戸	むかわ町穂別福山 158 番地	13
富内第 2 地区共同井戸	むかわ町穂別富内 114 番地 2 地 先	9.6

1 物資購入及び配布計画

世帯構成員別被害状況

[illegible]

物資購入（配分）計画表

28

4 物資の給与又は貸与

(1) 物資受払簿

物 資 受 払 簿

むかわ町

品 名								救助法物資 有・無
受 入				払 出				
月 日	受入先	数量	担当者	月 日	払出先	給与・ 貸 与	数量	担当者
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
.				.		給・貸		
計				計				

5 受給者名簿
(1) 物資給与及び受領簿

物資給与及び受領簿

住家被害程度区分	
----------	--

災害救助物資として、下記内訳のとおり受領しました。

年 月 日

住 所
世帯主 氏 名 印

給与年月日	品 名	数量	備 考	給与年月日	品 名	数量	備 考

第25節 行方不明者の捜索及び遺体の収容処理埋葬計画関係

第3 火葬場状況

施設名	所在地	電話番号
鵜川斎場	むかわ町汐見 487 番地 14	42-4751
穂別斎場	むかわ町穂別和泉 293 番地	45-2464

第28節 廃棄物等処理計画関係

第3 ごみ及びし尿処理施設

1 一般廃棄物処理施設

施設名	所在地	処理能力	敷地面積
平取町外2町衛生施設組合清掃センター	沙流郡平取町字小平 39-2	(ごみ処理施設) 1日 40t/日 (20t×8h×2 炉)	6,430 m ²
		(破碎処理施設) 1日 31 t / 日 (5hr×1 基)	6,605 m ²

収集車 2台 (委託業者に貸付)

〔令和5年6月現在〕

2 し尿処理施設

施設名	所在地	処理能力	敷地面積
胆振東部日高西部衛生組合日胆衛生センター	むかわ町晴海 9 4 番地	1日 70 t	18,558.42 m ²

バキュームカー 6台 (民間保有)

強力吸引車 2台 (民間保有)

〔令和5年6月現在〕

第30節 労務供給計画関係

第5 労務者の雇用の記録

労務要員の雇用記録簿

住 所	氏名	生年 月日	性 別	労 務 年月日	労務 時間	労務 場所	作業 内容	支 払 賃 金				その他 特記事 項
								日当	旅費	時間外勤 務手当	計	

指定避難所（鵠川地区）兼指定緊急避難場所

	施設名	所在地	想定 収容 人数	緊急避難場所の指定			
				洪水	地震	土砂 災害	津波からの 緊急避難
1	鵠川高等学校	福住4丁目2番地	464人	○	○	—	2階以上
2	鵠川中央小学校	花園1丁目14番地	625人	○	○	—	2階以上
3	鵠川高等学校生徒寮	文京1丁目18番地	79人	○	○	—	避難できません
4	鵠川町民体育館	文京3丁目4番地	751人	○	○	—	避難できません
5	鵠川中学校	文京4丁目2番地	629人	○	○	—	避難できません
6	むかわ町産業会館	美幸2丁目88番地	184人	○	○	—	3階以上
7	四季の館	美幸3丁目3番地1	344人	○	○	—	避難できません
8	川西第1集落センター	田浦199番地11	66人	○	—	—	避難可能
9	生涯学習センター報徳館	二宮315番地4	239人	○	○	○	避難可能
10	川西第2集落センター	豊城311番地36	67人	○	○	○	避難可能
11	春日生活館	春日235番地3	28人	○	○	○	避難可能
12	イモッペ生活館	宮戸77番地1	138人	○	○	—	避難可能
13	川東第1集落センター	宮戸715番地2	66人	受けていません			
14	川東第2集落センター	生田441番地	120人	○	○	○	避難可能
15	旭岡生活館	旭岡58番地3	30人	受けていません			
16	有明集会所	有明38番地1	28人	受けていません			

※避難所は災害の状況に応じて必要数開設します

津波から駆け上がれる垂直避難場所（指定緊急避難場所）

	施設名	所在地	
1	鵠川高等学校（再掲）	福住4丁目2番地	2階以上（校舎・屋上）に一時避難可能
2	消防署鵠川支署	青葉1丁目73番地	屋上（屋外）に一時避難可能
3	鵠川中央小学校（再掲）	花園1丁目14番地	3階以上（校舎・屋上）に一時避難可能
4	町営住宅末広団地C棟	末広1丁目67番地1	3階以上（屋上）に一時避難可能
5	町営住宅文京ハイツ	文京1丁目18番地	3階以上（屋上）に一時避難可能
6	むかわ町産業会館（再掲）	美幸2丁目88番地	3階以上（屋内・屋上）に一時避難可能
7	ホテル四季の風	美幸3丁目3番地1	3階以上（屋内） 四季の館は避難できません
8	汐見一時避難場所	汐見89番地3	地震・津波発生時の一時避難場所です

指定避難所（穂別地区）兼指定緊急避難場所

	施設名	所在地	想定 収容 人数	緊急避難場所の指定			
				洪水	地震	土砂 災害	
1	穂別町民センター	穂別2番地1	119人	○	○	○	
2	穂別小学校	穂別114番地2	484人	○	○	○	
3	穂別中学校	穂別110番地	467人	○	○	○	
4	穂別高等学校	穂別127番地	329人	○	○	○	
5	さくら認定こども園	穂別80番地45	278人	受けていません			
6	穂別スポーツセンター	穂別449番地4	324人	○	○	○	
7	富内銀河会館	穂別富内81番地15	118人	○	○	○	
8	旧富内小学校	穂別富内91番地3	303人	受けていません			
9	穂別中央生活館	穂別和泉76番地1	130人	○	○	○	
10	和泉上生活館	穂別和泉226番地16	49人	受けていません			
11	豊田生活館	穂別豊田294番地3	44人	受けていません			
12	仁和会館	穂別仁和324番地1	66人	○	○	○	
13	旧仁和小学校体育館	穂別仁和344番地1	132人	○	○	○	
14	仁和下会館	穂別仁和199番地4	44人	受けていません			
15	栄生活館	穂別栄71番地7	50人	受けていません			
16	稲里生活館	穂別稲里243番地2	44人	○	○	○	
17	安住生活館	穂別安住72番地2	49人	受けていません			

※避難所は災害の状況に応じて必要数開設します

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【応急対応に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
1	むかわ町所有の公共施設における災害時協力体制に関する実施協定	災害・事故発生時（おそれがある場合）における町民の生命、身体、財産を守るための連携協力実施に関する協定。 1 情報連絡網の構築・共有 2 協力実施体制の構築・共有 3 資機材保有状況の把握に係る業務対応 4 施設の被害状況の把握に係る業務対応 5 災害応急対策に係る業務対応	むかわ建設協会	H18. 7. 25
2	日本水道協会北海道地方支部道南地区協議会災害時相互応援に関する協定	地震、異常渇水等による水道災害時、日本水道協会北海道地方本部道南地区協議会の各会員相互による応援活動に関する協定。 1 応急給水作業 2 応急復旧作業 3 応急復旧用資材の供出 4 工事業者のあっせん 5 前各号に掲げるもののほか特に要請のあった事項	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、厚真町、安平町、浦河町、えりも町、様似町、白老町、新ひだか町、壮瞥町、洞爺湖町、新冠町、日高町、平取町	H19. 7. 26
3	北海道地方における災害時の応援に関する申合せ	土木施設等に被害が発生した場合、被害拡大・二次災害防止のため、北海道開発局が被災直後の緊急的な対応を実施することに関する申合せ。 1 土木施設等の被害状況の把握 2 二次災害の防止に資する応急措置の準備（資機材の運搬、被災箇所の関し、進入路の確保等）	北海道開発局	H22. 5. 27
4	災害等の発生時におけるむかわ町と北海道エルピーガス災害対策協議会の応急・復旧活動の支援に関する協定	災害対策基本法、武力事態等における国民の保護のための措置に関する法律の規定に基づく災害等発生時（おそれがある場合）における応急・復旧活動の支援に関する協定。 1 L P ガスの被害状況・復旧状況の情報提供 2 被災場所における応急措置、復旧工事 3 避難場所等への L P ガスの供給。供給に必要な関連機器の設置工事 4 大規模火災現場における L P ガス設備の撤去等の安全対策	北海道エルピーガス災害対策協議会	H23. 3. 25
5	災害時等における応援協力及び復旧業務に関する協定	地震、風水害その他の大規模災害発生時（おそれがある場合）、山林等における行方不明者の捜索に係る車両、建設機械、資材、人員等の確保に関する協定。	株式会社N I P P O道南統括事業所	H24. 9. 24
6	災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定	災害発生時（おそれがある場合）における災害対策活動に係る機材の提供に関する協定。	株式会社カナモト鶴川営業所	H25. 2. 1
7	災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定	災害発生時（おそれがある場合）における災害対策活動に係る機材の提供に関する協定。	株式会社共成レンテム富川営業所	H25. 3. 6

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【応急対応に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
8	災害時における下水道管路施設の復旧支援協力に関する協定	下水道管路施設が地震等の災害により被災したときに広域的な支援として行う復旧支援協力に関する協定。	北海道、公益社団法人日本下水道管路管理業協会	H30. 3. 23
9	むかわ町・日本下水道事業団災害支援協定	町の下水道施設に災害発生時、日本下水道事業団が行う災害支援に関する協定。 1 災害の状況を確認するために行う現地調査（協会下水道施設の点検を含む） 2 公共土木施設災害復旧事業国庫負担法施行令第5条の規定による災害報告に必要な資料の作成 3 協会下水道施設について、その応急工事又は復旧工事が完了するまでの間、暫定的にその機能を確保するために行う簡易消毒の実施、仮設ポンプの設置その他の維持又は修繕に関する工事 4 災害査定に必要な設計図書その他の関係資料の作成（作成のために行う現地調査を含む）	日本下水道事業団	R3. 4. 1 R6. 3. 28
10	大規模災害時における相互協力に関する基本協定	大規模災害発生時（おそれがある場合）、迅速かつ的確に対応することにより住民生活の早期安定を図るための相互協力に関する協定。	北海道電力株式会社、北海道電力ネットワーク株式会社	R3. 11. 15
11	大規模災害時における樹木・土砂などの障害物（電力設備を除く）の除去作業の支援に関する細目協定	「大規模災害時における相互協力に関する基本協定」に基づく一体となつて行う停電復旧作業のうち、樹木・土砂などの障害物（電力設備を除く）の除去作業にかかるむかわ町の支援に関する細目協定。	北海道電力株式会社、北海道電力ネットワーク株式会社	R3. 11. 15
12	大規模災害時における道路の通行に支障となる電力設備等の除去作業の支援に関する細目協定	「大規模災害時における相互協力に関する基本協定」に基づき、電力設備等による町が管理する道路の通行支障が生じた際、早期解消に向けた迅速かつ着実な作業の推進、連携に関する細目協定。	北海道電力株式会社、北海道電力ネットワーク株式会社	R3. 11. 15
13	災害時におけるレンタカー車両の優先貸貸に関する協定	災害発生時（おそれがある場合）における災害対策業務で使用する車両の優先貸貸に関する協定。	株式会社トヨタレンタリース新札幌	R3. 11. 26
14	災害時の復旧・復興等事業の支援業務の実施に関する協定	災害発生時（おそれがある場合）に住民生活の早期安定を図ることを目的として、復旧・復興等の事業を実施する際に支援する業務に関する協定。 1 住家の被害認定調査 2 罹災証明書の交付に係る業務 3 損壊家屋等の解体・撤去処理業務 4 堆積土砂の排除業務	一般社団法人日本補償コンサルタント復興支援協会	R6. 12. 18

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【物資供給・輸送に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
1	災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定	北海道と締結した「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」に基づく災害対応型自動販売機による協働事業に関する協定。 1 災害対応型自動販売機の電光掲示板による町の地域・行政情報、災害・気象情報等の提供 2 緊急時における災害対応型自動販売機内在庫飲料の無償提供	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	H22. 6. 11
2	災害時における燃料の供給等に関する協定	地震、風水害その他の災害発生時（おそれがある場合）における必要な燃料の供給に関する協定。 1 町指定緊急車両等への燃料の優先給油 2 町指定災害対策上重要な施設、避難所、医療機関及び社会福祉施設等への優先提供 3 苫小牧地方石油業協同組合等が取り扱う物資の供給、要員の動員等 4 苫小牧地方石油業協同組合等の給油所における、帰宅困難者、被災者及び観光客等に対する一次休憩所としての施設、水道水、トイレの提供 5 苫小牧地方石油業協同組合等の給油所における、帰宅困難者等に対するラジオ、テレビ等による災害情報、地図等による通行可能な道路情報、近隣の避難所に関する情報等の提供 6 苫小牧地方石油業協同組合等の給油所における、傷病者である帰宅困難者等に対する救急要請、簡易な応急手当等の支援	苫小牧地方石油業協同組合	H24. 3. 28
3	災害時におけるハイヤー車両による緊急輸送に関する協定	災害対策基本法に基づく災害発生時、ハイヤー車両等による被災者等の避難輸送、町の避難救出計画に従事する者の輸送に関する協定。 1 災害に伴う被災者及び傷病者の輸送 2 応急対策に筆異様な人員及び機材の輸送 3 災害の状況、被害情報の収集	有限会社穂別ハイヤー 有限会社むかわハイヤー	H26. 8. 19
4	緊急時における輸送業務に関する協定	災害発生時（おそれがある場合）における物資の輸送業務に関する協定。	室蘭地区トラック協会苫小牧支部	H27. 7. 31
5	災害時の物資供給及び店舗営業の継続又は早期再開に関する協定	地震、風水害その他災害発生時、被災住民等を救助するための物資の調達、供給、セブン-イレブン店舗の営業継続、早期営業再開に関する協定。 1 調達物資の範囲、数量 2 物資の運搬、引渡し 3 情報提供 4 営業の継続又は早期再開 5 車両の通行	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	H28. 12. 5

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【物資供給・輸送に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
6	「道の駅防災用 備蓄資機材」に 関する協定	災害発生時の避難者の支援、国道等の被災 情報の提供、復旧作業の迅速化に関する協 定。 1 資機材の貸与、資機材の維持管理 2 防災用備蓄倉庫の設置	北海道開発局室 蘭開発建設部	H30. 4. 6
7	災害時における 応急生活物資の 供給等に関する 協定	地震、風水害その他の大規模災害等、武力 攻撃事態等における国民の保護のための措 置に関する法律に定める武力攻撃災害発生 時（おそれがある場合）、相互協力し、住 民生活の早期安定のための物資の供給等 に関する協定。	株式会社セコマ	R2. 4. 10
8	ヤマト運輸株式 会社とむかわ町 との包括連携協 定	地域活性化、住民サービス向上に関する協 定。 1 災害時における物資輸送・物資拠点 2 高齢者支援・障がい者支援 3 安全で安心な地域社会の実現 4 地域の活性化	ヤマト運輸株式 会社千歳主管支 店	R2. 9. 28
9	災害時における 避難所等で使用 する製品の供給 に関する協定	地震、風水害その他災害発生時（おそれが ある場合）における主に避難時、避難所等 で使用する物資等を迅速かつ円滑に供給す ることに係る協定。	アキレス株式会 社	R4. 4. 22
10	災害時における 物資供給に関す る協定	地震、風水害その他災害発生時（おそれが ある場合）における物資を迅速かつ円滑な 被災地へ供給に関する協定。	NPO法人コメリ災 害対策センター	R5. 8. 28
11	災害時における 福祉用具等物資 の供給等協力を 関する協定	災害発生時（おそれがある場合）に、相互 に協力して避難所等において必要とされる 介護用品・衛生用品等の福祉用具等（以下 「福祉用具等」という。）物資を確保する ことに関して必要な事項を定めるほか、町 が行う地域防災に対し、平時の防災活動へ の協力に関し必要な事項を定める協定。	一般社団法人日 本福祉用具供給 協会	R5. 10. 30

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【相互応援に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
1	むかわ町、砺波市災害時相互応援協定	災害時における相互応援協定。 1 被災者救出、医療、防疫、施設の応急復旧等に必要な物資、器材、車両の提供 2 食料、飲料水その他生活必需品等の物資、これらの提供に必要な機材、車両の提供 3 被災者の一時収容に必要な施設の提供 4 職員の派遣 5 災害救助ボランティアのあっせん	砺波市	H19. 4. 23
2	災害時相互応援に関する協定	災害対策基本法に基づく災害発生時の広域相互応援協定。 1 生活必需品の供給（に必要な資機材）の提供 2 救援・救助活動に必要な車両等の提供 3 被災者の救出、医療、防疫、応急復旧に必要な医薬品等の物資・資機材の提供 4 救援及び応急復旧に必要な職員の派遣 5 緊急避難に対する避難所の提供 6 被災者に対する住宅の提供 7 児童・生徒の受入れ	日高町	H20. 7. 1
3	災害時の応援に関する協定	災害対策基本法に基づき、道内で相当規模の災害発生時、円滑かつ迅速な災害復旧事務の遂行とともに民生の安定を図るための協定。 1 避難施設運営補助（支援物資運搬、避難施設巡回等） 2 災害ボランティア、支援物資等の受付事務 3 有価物（現金、保険証、貴金属等の遺失物）の分別等作業 4 り災証明書申請、発行事務 5 り災建物判定に係る現地調査補助	財務省北海道財務局、北海道、北海道市長会、北海道町村会	H26. 3. 24
4	災害時広域相互応援に関する協定	災害対策基本法に基づく災害発生時の広域相互応援協定。 1 生活必需品の供給（に必要な資機材）の提供 2 救援・救助活動に必要な車両等の提供 3 被災者の救出、医療、防疫、応急復旧に必要な医薬品等の物資・資機材の提供 4 救援及び応急復旧に必要な職員の派遣 5 児童・生徒の受入れ 6 被災者に対する住宅の提供	苫小牧市、白老町、厚真町、安平町	H27. 3. 2

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【相互応援に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
5	災害時等における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定	災害対策基本法に基づく災害が発生時、被災市町村のみでは災害応急対策を十分に実施できない場合における道及び市町村相互の応援、広域一時滞在その他災害応急対策の円滑な遂行に関する協定。 1 災害応急対策に従事する職員の派遣 2 災害応急対策に必要な車両、船艇、機械器具、資機材、物資（食料、飲料水、生活必需物等）等の提供及びあっせん 3 被災市町村に対する災害応急対策に従事する防災関係機関の活動のための施設及び場所の提供及びあっせん 4 広域一時滞在等による被災住民の受入れ	北海道、北海道市長会、北海道町村会	H27. 3. 31
6	恐竜化石を活用した自治体連携に伴う基本協定	地域づくり、教育・文化振興、学術・研究、観光、地域交流、災害応援等の分野で相互協力し、活力ある地域の形成、発展のための連携協定。 1 恐竜化石を活用した相互交流（行政・地域） 2 人材育成、学校教育における相互交流 3 学術・調査研究 4 地域の魅力（観光・物産）情報の相互発信 5 災害相互応援協力	熊本県御船町、兵庫県篠山市、兵庫県丹波市、むかわ町	H29. 11. 26
7	むかわ町と一般社団法人日本ムービングハウス協会との包括連携協定	むかわ町における地域の課題に適切に対応し、一層の地域活性化に資することに関する協定。 1 地域の特性を活かしたまちづくり 2 文化・スポーツ・芸術を通じた地域活性化 3 教育支援及び人材育成 4 健康及び福祉の増進 5 災害時の相互支援 6 情報提供及び広報活動	一般社団法人日本ムービングハウス協会	R3. 2. 26

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【被災者支援に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
1	災害時における道の駅「むかわ四季の館」の防災拠点化に関する協定	災害時に道の駅「むかわ四季の館」を防災拠点として利用することに関する協定。 1 災害情報の収集提供 2 地域住民、道路利用者等の避難誘導等の支援 3 防災拠点として必要な資機材の整備 4 防災拠点の機能として必要な維持・管理	北海道開発局室蘭開発建設部	H19. 3. 13
2	大規模災害時等の情報共有要領及び生活救助等に関する協定	大規模災害時における情報共有、応急的な生活救助に関する協定。 1 平素からの情報連絡体制の充実 2 情報の収集・伝達・整理・共有化 3 地域の使用 4 応急的な生活救助 5 訓練の実施 6 普及・教育	陸上自衛隊第7師団第7特科連隊	H27. 4. 15
3	災害時における避難所等の施設利用に関する協定	大規模な地震、地震に伴う津波災害、洪水等を含む風水害発生時（おそれがある場合）、地域住民等の避難円滑化を図るため、いすゞ自動車株式会社の管理する施設を指定避難所、指定緊急避難場所として町民を受け入れることに関する協定。	いすゞ自動車株式会社、株式会社いすゞ北海道試験場	R2. 8. 28
4	電気自動車等を活用した災害連携協定	電気自動車の計画的な整備（又は電気自動車を非常用電源として活用できる体制の構築）に加え、町内において災害が発生し、かつ災害救助法第2条（救助の対象）が適用になる可能性がある場合、相互に連携することで、電力不足が想定される町指定の避難所等において、電気自動車から電力を供給すること、物品の輸送や避難行動要支援者の搬送時、調査等により、住民の生命、身体、財産を守るための基本的事項に関する協定。	厚真町、安平町、むかわ町、北海道日産自動車株式会社、札幌日産自動車株式会社日産プリンス札幌販売株式会社、日産自動車株式会社北日本リージョナルセールスオフィス北海道グループ	R2. 9. 25
5	災害時における施設利用に関する協定	地域住民と行政が一体となり防災に取り組むことにより、防災意識の向上、災害時における避難協力体制確立、地域住民の安全確保を目的として、災害発生時、施設の一部を一時避難所として利用することに関する協定。	鶴川仏教会（永安寺、願照寺、光生寺、静光寺、法城寺、龍照寺）	R3. 1. 14
6	災害時における施設利用に関する協定	地域住民と行政が一体となり防災に取り組むことにより、防災意識の向上、災害時における避難協力体制確立、地域住民の安全確保を目的として、災害発生時、施設の一部を一時避難所として利用することに関する協定。	天理教膽振分教会	R3. 1. 28
7	災害時における施設利用に関する協定	地域住民と行政が一体となり防災に取り組むことにより、防災意識の向上、災害時における避難協力体制確立、地域住民の安全確保を目的として、災害発生時、施設の一部を一時避難所として利用することに関する協定。	真光寺 梅溪寺 本念寺	R3. 2. 24

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【被災者支援に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
8	災害時における 応急仮設住宅 (移動式木造住 宅)の建設に 関する協定	地域防災計画に基づき、災害時における応 急仮設住宅の建設協力に関する協定。	一般社団法人日 本ムービングハ ウス協会	R3. 2. 26
9	災害時における 災害ボランティ アセンター設置 及び運営に 関する協定	災害時における災害ボランティアセンター の設置及び運営に関する協定。 1 センターの設置・設置場所 2 センターの運営 3 資機材の確保	社会福祉法人む かわ町社会福祉 協議会	R3. 3. 18
10	大規模災害時等 における炊き出 し業務の協力に 関する協定	大規模災害等発生時における炊き出し業務 に関する協定。	株式会社日総	R3. 8. 11
11	災害時の医療救 護活動に関する 協定	むかわ町地域防災計画に基づき苫小牧市医 師会が行う医療救護活動における、救護班 の派遣、災害医療救護計画の策定、救護班 の業務、情報連絡体制、救護班に対する指 揮命令、避難所等における感染症対策、医 療品の支給、収容医療機関の指定、医療 費、費用の弁償、医事紛争等に関する協 定。	一般社団法人苫 小牧市医師会	R5. 11. 20
12	災害における福 祉避難所の開設 等に関する協定	大規模な災害が発生した場合に、要配慮者 を受け入れるため、介護サービス施設等に 福祉避難所を開設することについて必要な 事項を定める協定。 当該施設等の利用者の処遇に支障が生じ たり、施設の運営体制を阻害することがな いよう可能な範囲とする。 1 福祉避難所の開設（特養 慶寿苑） 2 連絡員等の配置 3 要配慮者の受入れ（必要時移送） 4 福祉避難所の運営	社会福祉法人 慶寿会	R2. 4. 1
13	災害における福 祉避難所の開設 等に関する協定	大規模な地震、風水害その他の災害発生時 に要配慮者を受け入れるため、施設に福祉 避難所を開設することに関する協定。 1 福祉避難所の開設（愛誠園・ほべつ誠 和） 2 要配慮者の受入れ 3 福祉避難所の運営	社会福祉法人 愛誠会	R2. 4. 1
14	災害における福 祉避難所の開設 等に関する協定	福祉避難所の開設（デイサービスたんぼ ぼ）、連絡員等の配置、要配慮者の受入れ （必要時移送）、福祉避難所の運営	医療法人 資生 会※誠医会 (R2. 4. 1締結) から変更	R4. 4. 1
15	災害における福 祉避難所の開設 等に関する協定	福祉避難所運営の協力、連絡員等の配置、 要配慮者の受入れ（必要時移送）	一般社団法人 ライフケアほっ ぷ	R2. 4. 1
16	災害における福 祉避難所の開設 等に関する協定	福祉避難所運営の協力、連絡員等の配置、 要配慮者の受入れ（必要時移送）	特定非営利活動 法人 宅老所日 和	R2. 4. 1

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【その他防災に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
1	防災情報の共有に関する協定	迅速かつ的確な防災対策、状況に応じた施設の維持管理等に資するため、所有する防災に係る情報を相互に共有することに関する協定。	北海道開発局	H21. 1. 23
2	むかわ町における高齢者の地域見守り活動、災害時における生活物資供給等に関する協定	高齢者の孤独死防止等、高齢者地域見守り活動に関する協力、地震、風水害、その他の災害発生時（おそれのある場合）における協力に関する協定。 1 通常業務での高齢者宅訪問等時の異変発見 2 災害時における応援生活物資の調達、輸送	とまこまい広域農業協同組合	H26. 8. 4
3	鹉川むかわ町水害タイムラインに基づく連携に関する協定	鹉川むかわ町水害タイムラインに基づくタイムラインの円滑な運用に関する協定。	北海道開発局室蘭開発建設部、室蘭地方気象台	R1. 5. 9
4	包括連携協定	地域社会の発展、人材育成、学術の振興に関する協定。 1 地域性を考えた防災施設、情報伝達手段の整備 2 防災を軸とした住民主体の魅力的なまちづくり 3 住民の防災意識向上イベントの開催、地域の防災担当者の人材育成	国立大学法人北見工業大学地域と歩防災研究センター	R1. 12. 26
5	独立行政法人国立高等専門学校機構苫小牧工業高等専門学校と北海道むかわ町との連携及び協力に関する包括連携協定	地域社会の発展、人材育成、学術の振興に関する協定。 1 地域に密着したものづくり産業の振興 2 学術研究の振興 3 まちづくりの推進及び防災	独立行政法人国立高等専門学校機構苫小牧工業高等専門学校	R2. 9. 15
6	まちなか再生と地震・津波防災対策に関する協定	賑わいと活力のあるまちなか再生、自然災害に強いまちづくりの推進を推進し、震災からの創造的復興に資するまちなか再生、地震防災対策に関する協定。 1 まちなか再生の推進に係る調査研究 2 地震・津波防災対策に係る調査研究	地方独立行政法人北海道立総合研究機構建築研究本部	R3. 6. 28

防災連携協定及び防災関連包括連携協定等

【その他防災に関する協定】

No.	協定名	協定の目的及び内容等	締結先	締結年月日
7	災害に係る情報発信等に関する協定	災害に備え、むかわ町が町民に対して必要な情報を迅速に提供し、かつむかわ町の行政機能の低下を軽減させるため、相互協力して様々な取組みを行うことに関する協定。 1 町ホームページへのアクセス負荷軽減を目的としたキャッシュサイトのヤフーサービス上への掲載 2 避難所等の防災情報をヤフーサービス上に掲載 3 避難指示等の防災情報をヤフーサービス上に掲載 4 災害発生時の被害状況、ライフライン、避難所におけるボランティア受入れ情報をヤフーサービス上に掲載 5 避難所等における必要救援物資情報をヤフーサービス上に掲載 6 避難所に避難している避難者名簿を作成する際、ヤフーが提供する所定のフォーマットを用いて名簿を作成すること	ヤフー株式会社	R4. 3. 4
8	平時及び災害時における「地域防災協働体制」の協力に関する協定	災害対策基本法、地域防災計画に基づく自助を基本理念とし、町が行う地域防災に対する平時・災害時における地域防災協働体制に関する協定。 1 平時における自主防災組織活性化支援、防災イベント企画立案、防災訓練の協力・協働、防災備品格納場所の提供 2 災害時における一時避難場所提供、資機材提供	N P O 法人 M a r g e	R5. 3. 17
9	むかわ町とジャパンケーブルキャスト株式会社との包括連携協定	むかわ町における地域の課題に適切に対応し、一層の地域活性化に資することに関する協定。 1 地域の特性を活かしたまちづくり 2 I C T ・ I o T を活かしたまちづくり 3 地域の情報発信・観光事業促進 4 地域防災の情報伝達と安全・安心 5 行政 D X の推進 6 健康及び福祉の増進 7 高齢者及び障がい者支援	ジャパンケーブルキャスト株式会社	R3. 6. 7
10	バンブージャパン株式会社とむかわ町との包括連携協定書	災害時における電力供給、脱炭素化支援など	バンブージャパン株式会社（東京都）	R4. 5. 24

資料 1 1 津波避難対象地域

(1) 津波避難対象地域

自治会・町内会	避難対象地域	避難対象人口	避難目標地点	避難場所
鉄北町内会 福住町内会	福住3丁目 福住4丁目	268世帯567人 7世帯17人	鵜川高等学校付近	鵜川高等学校
花園町内会	花園3丁目	65世帯128人	鵜川中央小学校付近	鵜川中央小学校
末広町内会	末広1丁目 末広2丁目	83世帯139人 58世帯101人	鵜川中央小学校付近	鵜川中央小学校
文京・大成町内会	大成1丁目 大成2丁目	53世帯76人	鵜川高等学校付近	鵜川高等学校
	文京1丁目 文京2丁目 文京3丁目 文京4丁目	43世帯90人 11世帯22人 84世帯154人 29世帯52人	鵜川高等学校付近	鵜川高等学校
	美幸第1町内会 美幸3・4丁目町内会	93世帯156人 48世帯84人 16世帯26人 106世帯173人	鵜川中央小学校付近	鵜川中央小学校
	松風町内会	38世帯71人 78世帯147人	鵜川中央小学校付近	鵜川中央小学校
	洋光町内会	62世帯98人	鵜川中央小学校付近	鵜川中央小学校
若草町内会	若草	106世帯158人	鵜川中央小学校付近	鵜川中央小学校
駒場町内会	駒場	86世帯154人	鵜川中央小学校付近	鵜川中央小学校
晴海町内会	晴海	10世帯12人	川西第一集落センター付近	川西第一集落センター
田浦1区自治会	田浦1区	※30世帯88人	川西第一集落センター付近	川西第一集落センター
汐見1区自治会	汐見1区	※50世帯150人	汐見一時避難場所	宮戸小学校
むかわ町合計		1,424世帯2,663人		

〔令和2年国調数値 ※一部津波浸水域の数値〕

※避難所の開設については、被害状況等を調査してから地域防災計画に掲載している避難所を随時開設する。